

第 2 学 年 音 楽 科 学 習 指 導 案

2年2組 指導者 石田千陽

題 材 歌詞から音楽を表現する～夕やけこやけ～

1 本題材でめざす子どもの姿について

対象と向き合う子どもの姿【対】	自己と向き合う子どもの姿【自】	他者と向き合う子どもの姿【他】
○感じ取った曲想を基に、歌詞の表す情景や気持ちから、曲に合う歌い方を考え、歌っている。	○自分の歌い方の変化に気付き、曲に合う歌い方で歌っている。	○仲間の歌い方が変化した理由を交流し、曲に合う歌い方について考えている。

2 めざす子どもの姿を実現するために

本学級の子どもたちは、「かえるのがっしょう」の学習において、歌詞の表す情景や気持ちに着目し、仲間と声を合わせて歌う楽しさを味わってきた。このような子どもたちが、感じ取った曲想を基に、歌詞の表す情景や気持ちから、表現を工夫する学習に取り組む。このことは、曲想と歌詞の表す情景や気持ちとの関わりに気付き、曲に合う歌い方を考えながら歌う楽しさを味わうことにつながるであろう。

本題材では、感じ取った曲想を基に、歌詞の表す情景や気持ちから曲に合う歌い方を考え、歌唱活動に取り組む。「夕やけこやけ」は、曲想や歌詞から美しい情景を感じ取ることができる曲であると考えられる。しかし、子どもたちは鐘の音を聴いたり、夕日の美しさに浸ったりする経験が少ないため、歌詞の表す情景や気持ちを感じ取って歌うことは難しい。そのため、歌唱活動の中に、鑑賞を取り入れる。そうすることで、感じ取った曲想を基に、歌詞の表す情景や気持ちから、曲に合う歌い方で歌うことができると考えるからである。

そこで、以下のような支援を具体化し、本題材でめざす子どもの姿の実現を図る。

- 歌唱活動の中に、オーケストラで演奏された曲等の鑑賞を取り入れ、曲想を感じ取る活動を設定する。そうすることで、感じ取った曲想を基に、歌詞の表す情景や気持ちから、曲に合う歌い方を考えることができるようにする。【対】
- 仲間の歌い方の変化に気付いている発言に対し、その変化の理由を全体に問う。そうすることで、仲間の歌い方のよさに気付き、自分の歌い方に取り入れて歌うことができるようにする。【他】
- 歌い方を考える過程で、意識した自分の歌い方を問う。そうすることで、自分の歌い方の変化に気付き、曲に合う歌い方で歌おうとすることができるようにする。【自】

3 本題材の目標

- 感じ取った曲想を基に、歌詞の表す情景や気持ちから、曲に合う歌い方で歌うことができるようにする。
- 曲想と歌詞の表す情景や気持ちとの関わりに気付き、曲に合う歌い方を考えながら歌う楽しさを味わうことができるようにする。

4 本題材における評価規準

知識・技能 (知)	思考・判断・表現 (思)	主体的に学習に取り組む態度 (態)
○自分の歌い方を意識して歌うことができる。	○曲に合う歌い方について考えている。	○曲に合う歌い方をめざして、積極的に歌唱活動に取り組んでいる。

5 指導計画 (全3時間)


第1次 歌詞の表す情景や気持ちを感じ取って歌う (1時間)

第2次 曲想を感じ取り、歌い方を考える (2時間) 【本時1/2】

6 本時案 【令和元年11月22日 10:25~11:10 音楽室】

(1) ねらい 歌い方の変化の理由について考えることをとおして、感じ取った曲想を基に、曲に合う歌い方で歌うことができるようにする。

(2) 学習過程※下線は3つの向き合う姿が表れている子どもの意識

学習活動・学習内容	子どもの意識	○教師の支援
<p>1 「夕やけこやけ」を歌う。(10分)</p> <ul style="list-style-type: none"> 歌詞の表す情景や気持ち <p>2 感じ取った曲想を基に、歌い方について考える。(25分)</p> <ul style="list-style-type: none"> 曲想を感じ取ること 歌い方の変化 曲想と歌詞の表す情景や気持ちとの関わり 曲に合う歌い方 <p>3 自分の歌い方の変化について振り返る。(10分)</p> <ul style="list-style-type: none"> 曲に合う歌い方 	<ul style="list-style-type: none"> 早速、「夕やけこやけ」を歌ってみよう。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>「夕やけこやけ」に合う歌い方を考えよう</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> 前の時間のように、動きをつけて歌うと、歌詞の様子が浮かんでくるね。 これから、先生が「夕やけこやけ」を聴かせてくれるのだから。どんな曲かな。 <p>A <u>なんだか、落ち着く感じがしたよ。これまでの「夕やけこやけ」のイメージが変わったよ。どのように歌おうかな。【対】</u></p> <p>B <u>あれ、みんなの歌い方が、なんだか優しくなった気がするよ。どうしてだろう。</u></p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>どうして、歌い方が変わったのかな。</p>  </div> <ul style="list-style-type: none"> オーケストラの演奏を聴いて、きれいな夕やけや夜空が思い浮かんだからだよ。 <p>A <u>だから、優しく小さな声で歌ったのではないかな。【他】</u></p> <ul style="list-style-type: none"> 聴いている人に、きれいな夕やけの様子が伝わるといいな。 あれ、今度は、歌い方が優しくすぎて聴こえないよ。これでは、「夕やけこやけ」に合っていないと思うよ。 優しく歌いすぎたら悲しい感じがするよ。 もう少し明るく歌った方が、仲がよい感じが出るのかな。 <p>・これまで、仲がよい感じだから、大きく歌っていたけれど、景色や気持ちに合わせて、優しく明るい歌い方で歌ったよ。</p> <p>B <u>最後にみんなで歌ってみよう。優しく明るい声で歌うと、歌詞に出てきた景色とぴったり合うね。【自】</u></p>	<ul style="list-style-type: none"> ○オーケストラで演奏された曲を鑑賞後、感じ取った曲想について問う。そうすることで、感じ取った曲想を基に、曲に合う歌い方について考えることができるようにする。【対】 ○歌い方の変化に気付いた発言を取り上げ、その変化の理由を全体に問う。そうすることで、仲間の歌い方のよさに気付き、自分の歌い方に取り入れようとするができるようにする。【他】 ○本時で意識した歌い方を振り返るよう促す。そうすることで、自分の歌い方の変化に気付き、曲に合う歌い方で歌うことができるようにする。【自】

(3) 板書計画

